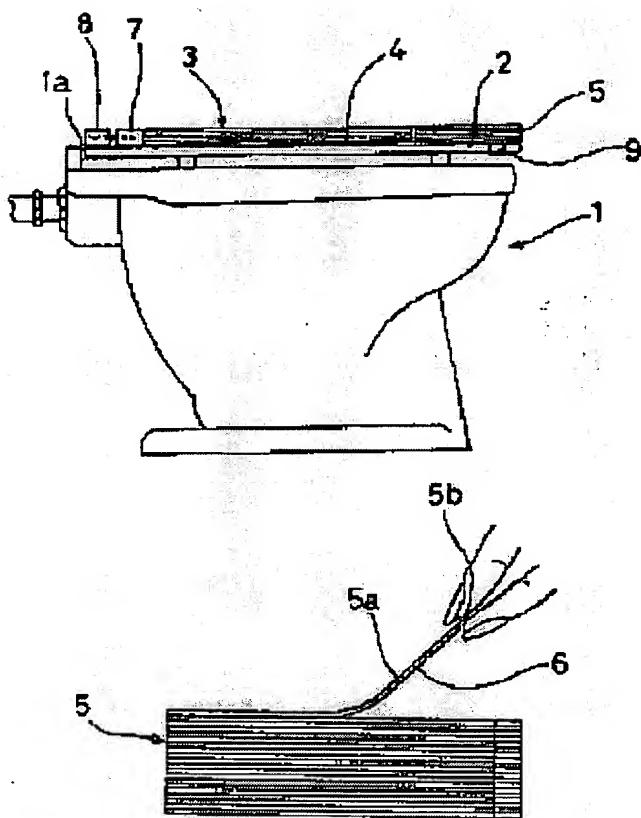


**JP5253093****Patent number:** JP5253093**Publication date:** 1993-10-05**Inventor:****Applicant:****Classification:****- International:** A47K13/14; A47K13/16; A47K13/00; (IPC1-7):  
A47K13/16; A47K13/14**- european:****Application number:** JP19920086377 19920310**Priority number(s):** JP19920086377 19920310**Report a data error here****Abstract of JP5253093**

**PURPOSE:** To obtain an inexpensive cover device for a toilet seat excellent in sanitarness and convenient to use by forming a cover by laminating a plurality of sheet like cover materials in a releasable state.

**CONSTITUTION:** A cover device 3 is constituted of a toilet seat 2, a thin plate-shaped base stand 4 formed into an almost circular shape and a cover group 5. The cover group 5 is formed by laminating a plurality of sheet like cover materials 5a in a releasable self-adhesive state using a self-adhesive 6 and the lowermost cover material 5a is also bonded to the surface of the base stand 4 in a releasable state in the same way. Tongue-shaped grasping piece 5b is provided to each of the cover materials 5a so as to protrude outwardly. When a user grasps the uppermost grasping piece 5b to draw up the same, the uppermost cover material 5a is released and removed and the unused cover material 5a is exposed.



---

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-253093

(43) 公開日 平成5年(1993)10月5日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

A 47 K 13/16  
13/14

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数5(全5頁)

(21) 出願番号 特願平4-86377

(22) 出願日 平成4年(1992)3月10日

(71) 出願人 592077590

掛川 保夫

群馬県太田市新井町82-7

(71) 出願人 592077604

掛川 陽子

群馬県太田市新井町82-7

(72) 発明者 掛川 保夫

群馬県太田市新井町82-7

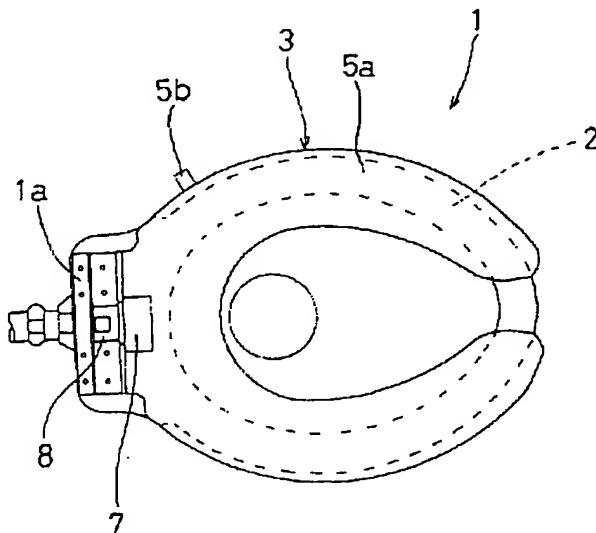
(74) 代理人 弁理士 廣瀬 哲夫

(54) 【発明の名称】 便座用カバー具

(57) 【要約】

【目的】 使い勝手が良く、しかも安価な使い捨ての便座用カバーを提供する。

【構成】 便座用カバー3を、複数枚のシート状としたカバー材5aを剥離可能な状態で積層して形成する。



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 便座の座部に被着するカバーであつて、該カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な状態で積層したものであることを特徴とする便座用カバー具。

【請求項2】 便座の座部に被着するカバーであつて、該カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な状態で積層したカバー群からなり、かつ該カバー群は、便座に着脱自在に取付けたものであることを特徴とする便座用カバー具。

【請求項3】 便座の座部に被着するカバーであつて、該カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な状態で積層したカバー群と、該カバー群の下敷きになる基台とから構成され、基台を便座または便器に着脱自在に止着したものをあることを特徴とする便座用カバー具。

【請求項4】 便座の座部に被着するカバーであつて、該カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な貼着状態で積層したものからなり、さらにカバー材には、剥離操作をするための把持片になる非貼着部が設けられていることを特徴とする便座用カバー具。

【請求項5】 便座の座部に被着するカバーであつて、該カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な貼着状態で積層したものからなり、さらにカバー材は、上側ほど幅広になつていていることを特徴とする便座用カバー具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、洋式の便器に用いる便座用カバー具に関するものである。

## 【0002】

【従来技術及び発明が解決しようとする課題】 今日、洋式の便器が広く普及しているが、このものは、使用者が便座に直接座して使用する方式であり、このため、特に、レストランやホテル、あるいは病院等の不特定多数の人が使用する場所に設置したような場合に、前回の使用者が不明であつて使用者に不快感を惹起する許りでなく、衛生的な観点からも問題がある。そこで使用者の中には、備付けのトイレットペーパーで便座を拭したり敷いたりして使用する人もあるが、極めて面倒である。そこで、便座に使い捨て用のカバーを装着することが提唱されているが、この様な使い捨て用のカバーとして、従来、薄紙からなるシートカバーを使用者が使用毎に便座にセットするもの、あるいは便器に設けた収納部から繰出されるシート材をモータによつて移動させるようにしたもの等が知られている。しかるに前者のものは、シートカバーを幅狭な便座にいちいちセットしなければならないうえに、シートカバーは便座に固定されていないため、ずれ易くて使い勝手が悪いという問題があり、一方後者のものは、特殊な便器が必要であつて既存のもの

に簡単に装備できない許りでなく、モータ等の駆動装置の保守点検も必要となつて経費が高くという問題があつた。

## 【0003】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記の如き実際に鑑みこれらの欠点を一掃することができる便座用カバー具を提供することを目的として創案されたものであつて、便座の座部に被着するカバーであつて、該カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な状態で積層したものであることを特徴とするものである。また、前記カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な状態で積層したカバー群からなり、かつ該カバー群は、便座に着脱自在に取付けたものであることを特徴とするものである。また、前記カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な状態で積層したカバー群と、該カバー群の下敷きになる基台とから構成され、基台を便座または便器に着脱自在に止着したものであることを特徴とするものである。また、前記カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な貼着状態で積層したものからなり、さらにカバー材には、剥離操作をするための把持片になる非貼着部が設けられていることを特徴とするものである。またさらに、前記カバーは、複数枚のシート状をしたカバー材を剥離可能な貼着状態で積層したものからなり、さらにカバー材は、上側ほど幅広になつていることを特徴とするものである。

【0004】 そして本発明は、この構成によつて、使い勝手が良く、しかも安価な便座用カバー具を提供できるものである。

## 【0005】

【実施例】 次に、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。図面において、1は洋式トイレに装備される便器であつて、該便器1には、略馬蹄形をした便座2の基部が蝶番1aを介して上下揺動自在に軸着されており、必要において便器1の上部に装備できること等は何れも従来通りである。3は本発明が実施された便座用カバー具であつて、該カバー具3は、平面視において便座2と略同形状をした薄板状の基台4と、該基台4に載置されるカバー群5とから構成されている。このカバー群5は、複数枚のシート状のカバー材5aを粘着剤6を用いて剥離可能な貼着状態で積層して形成したものであつて、その形状は、基台4と略同形状になつているが、そのうちの最も下側のカバー材5aは、前記基台4の表面に同じように剥離可能な状態で貼着されている。また、各カバー材5aには、外側方に向けて舌片状の把持片5bがそれぞれ突出しているが、該把持片5aには粘着剤の塗布がなく、従つて、最上位の把持片5bを把持して上方に引張ることによつて当該カバー材5aを隣接カバー材5aから剥離できるようになつている。因みに、このカバー材5aの材質としては、水溶性紙材や水溶性高

分子等の材質のものを用いればそのまま水洗便所に流すことができるという利点があるが、防水性を考慮するのであれば、防水処理を施した紙の他、ポリ塩化ビニール樹脂、ポリエチレン樹脂等の防水性のある樹脂材を用いることもできる。

【0006】一方、前記基台4の基端部には係止具7が一体的に設けられており、そして、基台4は、係止具7を、上記蝶番1a部位に設けた係止金具8に着脱自在に係止できるようになつていると共に、基台4の先端部には、ゴム、マジックテープ、係止ツク等の適宜係止手段9を介して便座2の先端部に着脱自在に係止されている。

【0007】叙述の如く構成された本発明の実施例において、トイレにて便座2を使用する場合に、使用者は最上位の把持片5bを把持して引き上げると、最上位のカバー材5aが剥離除去されることに成り、これによつて未使用のカバー材5aが露出する。この結果、仮令前回の使用者が不明であつても、何ら不快感を感じることなく心地良く使用できるうえに、衛生的にも優れたものになる。しかも、カバー材5aは、便座2に止着支持されることになるため、ずれたりする惧れもなく、安心して使用できる。そのうえ、カバー材5aは、複数枚が剥離可能に積層した構造であるため、構造が簡単で安価である許りか、既存の便座にも簡単に装着することができる。そして全てのカバー材5aが使用されたら、基台4を係止金具8から外すと共に係止手段9を便座2から外して、新たなカバー具3を備え付ければ良い。

【0008】尚、本発明は前記実施例に限定されるものでないことは勿論であつて、図5、図6に示す第二実施例の如く、カバー群5のうち、最下位のカバー材5aを便座上面に貼着したものであつても良く、この場合に、最下位カバー材5aは、粘着材塗布面に離型紙が貼着されたものを用意しておき、この離型紙を剥離したものを使に貼着するようにすれば都合が良い。さらにまた、基台のあるものについては、前記第一実施例のように基台ごと交換するものに限らず、基台は便座に装着したまま、カバー群のみを補充するするようにしても良い。また、基台は、便座に装着することに限定されず、便器側に装着するようにしても良い。この場合、基台は便座と共に揺動するよう便器側に支持する必要があることはいうまでもない。また、カバー材を剥離可能に積層する場合に、粘着材によらず、図7(A)に示す第三実施例のようにカバー群5を局部的にプレスして圧着(圧着部5c)したもの、図7(B)に示す第四実施例のようにカバー群5の周縁部を融着あるいは接着(融着あるいは接着部5d)したもの等、剥離できるものであればその手段は問わないものである。さらにまた、カバー材に把持片を設ける場合、該把持片は、同一形状のものを同一位置に積層状に設けることなく、図7(C)に示す第五実施例の如く僅かづつ位置ずれした状態で積層状に形成す

れば、一度に複数枚を剥離してしまうことを防止できるという利点がある。そのうえまた、カバー群5についてでは、図7(D)に示す第六実施例の如く、上側のカバー材5aほど幅広なものを用いて形成すれば、下側のカバ一材5aは上側のカバー材5aによつて上面だけでなく側面までもが被覆されることになつて、より衛生的に使用することができるという利点があるが、このカバー材5aの形状によつては、便座2側面までをも覆う形状にでき、この場合には、より一層の利便性がある。因みにこの場合、カバー群5は、初めから湾曲状にしておく必要はなく、逆台形形状にしたものでよく、そして座した使用者の体重を受けて変形するように可撓性を持たせておくことでよい。さらにまた、カバー材5aや基台4に、脱臭性、殺菌性、芳香性を付与させてもよい。

### 【0009】

【作用効果】以上要するに、本発明は叙述の如く構成されたものであるから、トイレにて便座を使用する場合に、最上位のカバー材を剥離除去することによつて未使用のカバー材が露出する。この結果、仮令前回の使用者が不明であつても、何ら不快感を感じることなく心地良く使用できるうえに、衛生的にも優れたものになる。しかも、カバー材は、便座に止着支持されることになるため、セットが簡単でずれたりする惧れもなく、安心して使用できる。そのうえ、カバー材は、複数枚が剥離可能に積層した構造であるため、構造が簡単で安価である許りか、既存の便座にも簡単に装着することができることになる。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】カバー具を装着した便器の側面図である。

【図2】同上平面図である。

【図3】係止具および係止金具の拡大図である。

【図4】カバー材の剥離状態を示す説明図である。

【図5】第二実施例のカバー具を装着した便器の側面図である。

【図6】(A)は同上平面図、(B)は同上正面図である。

【図7】(A)は第三実施例を示すカバー群の一部断面図、(B)は第四実施例を示すカバー群の一部断面図、

(C)は第五実施例を示すカバー群の一部平面図、

(D)は第六実施例を示すカバー群の一部断面図である。

### 【符号の説明】

1 便器

2 便座

3 カバー具

4 基台

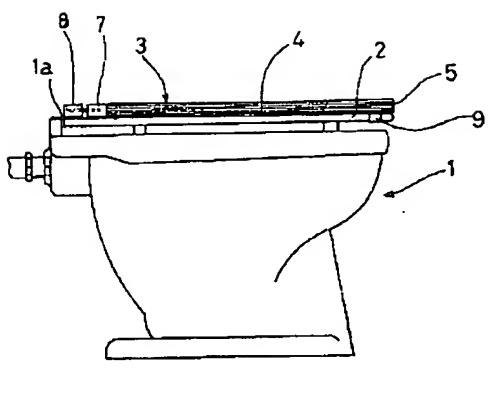
5 カバー群

5a カバー材

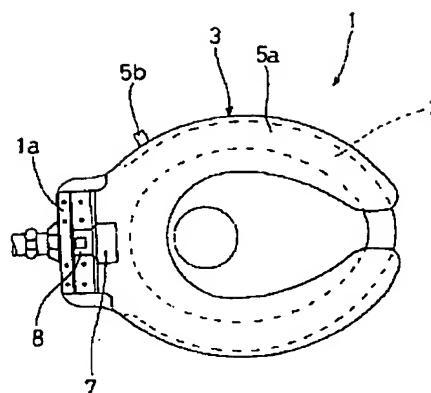
5b 把持片

8 粘着剤

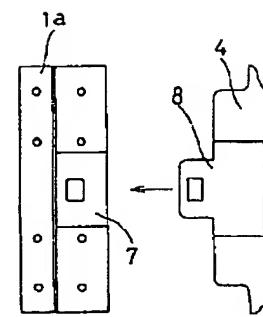
【図1】



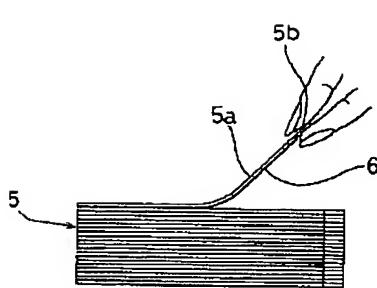
【図2】



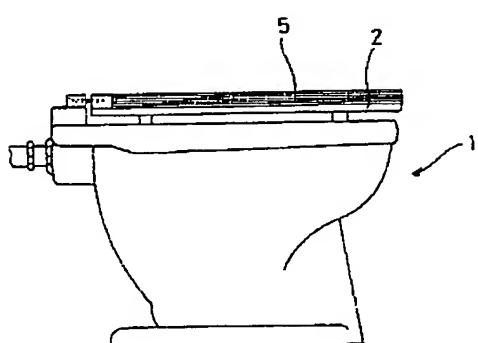
【図3】



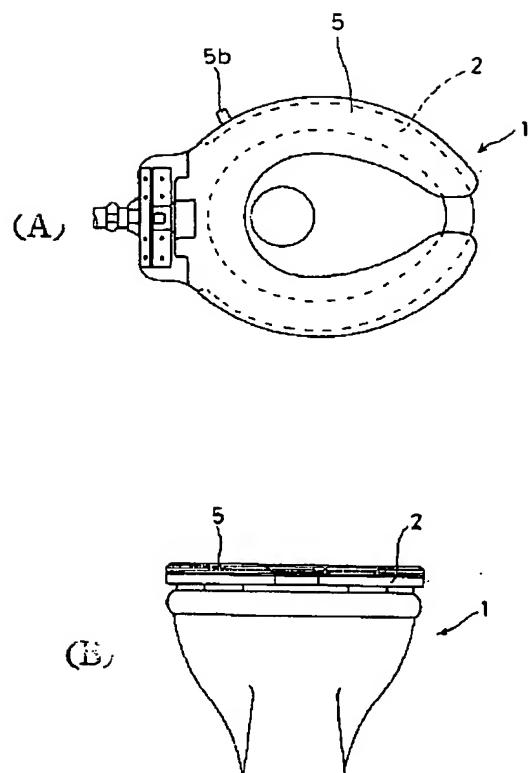
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

